

(a)から(e)の5個の選択肢から()にもっとも適当なものを選びなさい。解答は全てマーク回答用紙にすること。

A. 1820-1865年当時のアメリカは、事物の現実描写を重ねていけば豊かな小説世界が現出するという社会ではなかった。物質的になり(1) **金銀が支配する世界**であった。人々の趣味は低俗化の一途をたどる。形式的な道徳観、パッションの失せた、俗悪な状況における(2) **人間存在の空虚感**がただよっていた。また、南北戦争前の30年間はアメリカが繁栄と進歩に酔いしれ、自信に満ちて未来へ向かっていた時代でもある。

1830年頃からの(3) **Romanticism**の文学は、個人の情念、感情、経験をもとに想像力で作り上げた(4) **虚構の世界、その理想的世界**を追求することで現実性を乗り越えようとする文学だ。目の前に存在しないものを描き(外国や過去)、現実逃避となることもあった。(5) **Edgar Allan Poe**は、ヨーロッパ文学に影響を与えた、アメリカ初の独創的文学者といわれる。

- a. **Edgar Allan Poe** : b. **人間存在の空虚感**: c. **虚構の世界、その理想的世界**:
d. **金銀が支配する世界**: e. **Romanticism** :

B. (6) **The Fall of the House of Usher**という作品での、双子の主人公の分裂と合体は、作家の美意識と直結する。作家は男性芸術家として、魂が物質に浸透するような(7) **秘儀的知識(女性原理)**を獲得することを願っている。それは物質的になりすぎた現実世界に(8) **神秘的な力**が必要だと考えているからでもある。物語のクライマックスで男女の双子の合体と死は、(9) **男性原理的世界**と女性原理的世界の交流が達成され、物質、魂という対立物の融合という作家の理想世界が達成された瞬間なのである。

マサチューセッツ州セーレムの旧家に生まれた(10) **Nathaniel Hawthorne**の作品は、ニュー・イングランドの地方色にあふれている。特に作者自身の清教徒的倫理感、過去に対する特殊な意識が、作品に色濃く現れている。(ホーソンの祖先には魔女裁判で裁判官を務めた者もいた)。ピューリタン時代からの語られなかった暗黒の歴史を取り上げる。(次へつづく)

- a. : b. : c. : d. : e. :

- a. **The Fall of the House of Usher** : b. **Nathaniel Hawthorne**:
c. **男性原理的世界**: d. **神秘的な力**: e. **秘儀的知識(女性原理)** :

C. 彼は人間の心奥にひそみ、理性では捕捉しきれないものを、(11) 象徴的手法を駆使して表現しようとする。また、物事を多面的に捕らえようとして(12) 曖昧性を利用した。彼は自分をロマンス作家と定義した。ロマンスとは現実と虚構の世界のどこか、(13) 現実と創造がであう場、中間領域をあらわした。そして、その空間で自由な想像力を羽ばたかせるのだ。

17世紀半ばのボストンを舞台とする代表作は、(14) *The Scarlet Letter* である。姦通(かんつう)を犯した(15) Hester Prynne、その夫で嫉妬(しつと)に狂う Roger Chillingworth 医師、姦通の相手で罪に悩みついに世間に告白する Arthur Dimmesdale 牧師、さらに不義の子 Pearl を加えた4人の、7年間にわたる心理の葛藤(かつとう)を主題とする。(次へ続く)

- a. *The Scarlet Letter*: b. 象徴的手法: c. Hester Prynne:
d. 曖昧性: e. 現実と創造がであう場、中間領域:

D. 女性主人公の胸に緋の糸で刺しゅうされたAのイニシャルは、物語の冒頭では(16) 姦通 Adultery を意味したが、彼女の高潔な人格と行動が回りの社会に影響を与え、しだいに有能 Able、天使 Angel などの意味をもつようになる。こうした(17) 象徴的手法を駆使しながら、人間の心奥に潜む悪を追究する一方、ベリンガム知事ら実在の人物を端役に配し、1640年代のボストン・(18) ピューリタン社会を的確に描出する歴史小説としても評価される。ピューリタン社会の厳しい道德、女性主人公の求める愛と思想の自由、この二面の対比は、作者の内面の矛盾の反映にほかならない。

16世紀のヨーロッパでは社会が不安定化した。原因は1300年中頃以来、ヨーロッパで何度も流行したペスト、西南ドイツでの領主に対する農民一揆である農民戦争(1524)、ルターにより始まる宗教界の分裂(1517年)などだ。この時代にスケープゴートとして、(19) ユダヤ人、魔女、同性愛者が選ばれて社会から排除された。このような16世紀の時代風潮がこの作品に反映される一方で、19世紀の時代風潮も取り込まれている。男から独立して生計を立てる女主人公＝男の論理、権威から自由であるという構図にそれが見て取れる。それまで(20) 男性中心社会で抑圧されてきた母性信仰やオカルト信奉が、この時代に台頭しつつあったことの表れである。

- a. ピューリタン社会: b. 象徴的手法: c. ユダヤ人、魔女、同性愛者:
d. 男性中心社会: e. 姦通 Adultery:

E. (21) Herman Melville は船乗りとなり、二度日の航海で南太平洋へ行く。食人種のタイピー族に捕まって、脱走しオーストラリア捕鯨船に助けられる体験をした。彼が航海でえた経験では、船乗りに対する非人間的なあつかいや、船乗りたちの下劣さを通して、人間の本性をたつぷりとみせられた。また、南海の島々の住民の無垢な生活から、(22) 文明の力の善悪なども考えさせられた。

代表作、(23) *Moby-Dick ; or The Whale* は、『旧約聖書』の 12 小預言書の一つ Book of Jonah を下敷きになっている。聖書の物語は、預言者ヨナを主人公に仕立てた風刺的な物語だ。ヨナは、異教の帝国の首都ニネベへ行って滅亡を預言するよう神の命令を受けるが、これに背いて船で逃げる。途中大嵐となり、海中に投げ込まれたヨナが巨大な魚に飲まれ、腹の中で 3 日 3 晩過ごしたくたりは有名である。(24) 白鯨が象徴するのは、自然の神秘の力、自然（海）そのものの悪である。また、この動物は神聖と悪が見分けがたく入り交じった全能の神の恐るべきメッセンジャーである。この生き物を仇とねらうのは、Captain Ahab である。復讐するためには船員の命を顧みない、冷酷な自己を持った人間で、鯨を壁に見立て、それを打ち破ることで (25) 自由な自己を実現しようとする。自己を圧迫する正体不明の自己、これを打ち破らなければ、自己は解放されないと考える。

この作家は、この物語の中で、人間存在の基盤に広がる理解不能な深淵をのぞき、その中へ入っていった。そして、恐怖し、発見したことを、この作品の中で吐き出している。不可解なものを探求する精神を描いている。しかし、不可解なものが何であるかを問題とはしていないのだ。

- a. 自由な自己: b. *Moby-Dick ; or The Whale*:
c. 白鯨: d. Herman Melville: e. 文明の力の善悪:

F. (26) Walt Whitman は 1841 年に政治ジャーナリストになり、新しく合衆国に加わる地域はすべて自由州と認めさせる free soil（自由な土地）運動を提唱した。1850 年代に入ると、彼は議会や政治家を風刺するエピグラムを発表するようになる。一方では乗合馬車の御者席のかたわらに座ってブロードウェーを往来し、民衆の活気を吸収しようと努め、読書と思索にふけた。1855 年 7 月、詩集 (27) *Leaves of*

Grass が世に出た。

詩人としての彼は、アメリカ精神を再建しようとする (28) **ロマン主義的**な考えをもち、道徳的、霊的スピリチュアルな指導者の役割を果たした。彼の詩は、規則的韻律をもたず、柔軟で微妙なリズムを持つ

(29) **有機的形式 organic form** を持っている。そのような形式では、個人、個性、独創性が強調され、生きた感情の流れやその複雑微妙な起伏を表現するのに適していた。一貫した物語を持たず、(30) **言葉の連鎖反応や連想の広がり**によって、展開、自己増殖していく。語り手の自我は、周囲のあらゆる存在や事物と共鳴しあい、巻き込み、包み込み、膨れ上がって拡大していく自我となる。詩を作りながら、自分を発見し、確認する。さらに自分を語るための新しい詩の形式も見出していく。自分、仲間との共感、愛、自然の良い面も悪い面もごちゃまぜにして歌い、最終的にその全てを肯定する。肉体も精神も同じ。あらゆるものは宇宙全体の流れのなかにあり、全てが調和している。卑わいな言葉なども分け隔てなく使う。

a. **言葉の連鎖反応や連想の広がり**： b. Walt Whitman： c. **有機的形式 organic form**：

d. *Leaves of Grass*： e. **ロマン主義的**：

G. (31) **Emily Dickinson** はピューリタニズム的敬虔な雰囲気の中で暮らす。物質文明化し、キリスト教も形式化し、本当の「自己」がなんだか分からなくなった時代を代表する詩人だ。(32) **孤独の中に、精神の自由**を見出し、それを育もうとした。教義を鵜呑みにすることなく、素直に率直にユーモアや皮肉も忘れず、余裕を持って宗教的テーマに思いをめぐらした。生死、信仰などを、自分自身のために考え抜く。その他に、ニューイングランドの自然の美、恋愛、芸術、日常の喜び、寂しさ、女性としての疎外感、充実感や、他者の心との交わりを描いてもいる。彼女の詩では、自然、愛、死、神などの主題が扱われている。その詩風は、(33) **知的、即物的、硬質**でイメージが簡潔に凝縮している。

南北戦争終結の1865年から、フロンティア消滅の1890年までを、(34) **Gilded Age** と呼ぶ。この時代にアメリカは農業国から産業国へと急激に移行し、国民は悪夢のような黄金熱にとりつかれ、社会不正がひろまり、金銭のためには手段をえらばず、汚職と醜聞が日常化する。

急速な都市化とアメリカン・アイデンティティーの土台としての (35) **自然を育む西部やフロンティアの喪失**が、新世界の美しいアメリカ (ミシシッピー川の西に横たわっている地域) を、資本主義に熱中し、史上最大の機械制度を作り出す中産階級の土地、つまり旧世界ヨーロッパと変わらない状況へと一変させ

た。(次へ続く)

- a. 自然を育む西部やフロンティアの喪失: b. Gilded Age:
- c. 知的、即物的、硬質: d. 孤独の中に、精神の自由: e. Emily Dickinson:

H. 1870年代の腐敗は激しく dreadful decade と呼ばれる。グラント大統領までが贈収賄事件に巻き込まれる。Carnegie、Rockefeller などの大資本家の登場する一方、農民と労働者が搾取される。この時代潮流を生んだ考えに (36) Social Darwinism がある。the law of the jungle 弱肉強食、(37) the survival of the fittest 適者生存を、人間社会の科学的法則とした考え方だ。

(38) 鉄道会社はアメリカで最初に生まれた大企業である。ここで培われた産業の効率的経営システムは多くの産業にも波及した。そのシステムとは次の4つである。安全運行と効率性を極限まで高める業務のシステム化、(39) 列車の運行制御システム導入、会社の階層的組織化、あらゆる作業の経費を書類により管理する会計システム導入だ。

企業は吸収合併を繰り返し、カルテル、トラストを押し進め、ついには巨大独占企業体となる。政府が (40) Laissez-faire 自由放任の態度を取ったこともこの動きを加速させた。鉄道会社の繁栄と没落が、1880年代のアメリカ経済の繁栄と1890年代の経済恐慌の原因となったのは偶然ではない。(次に続く)

- a. Laissez-faire 自由放任の態度: b. 列車の運行制御システム導入:
- c. Social Darwinism: d. the survival of the fittest 適者生存: e. 鉄道会社:

I. この時代には大衆文化も発展した。都市化と戦争後の道徳観の低下と、社会秩序の乱れを背景に大衆文化が発展したのだ。1860年頃には、10セントで買える (41) Dime Novels が流行し出す。開拓者のヒーロー、西部小説、海賊もの、探偵ものなどがあつた。冒険心を満足させ、勧善懲悪のものがたりが取り上げられた。(42) Horatio Alger は少年向き物語を書いた。代表作は Ragged Dick 『ぼろ服ディック』だ。靴磨きや新聞売りをしていたニューヨークの貧しい少年が、正直さと勤勉さにより成功を収める小説

で、(43) **アメリカンドリーム**に繋がる、正直な少年の立身出世物語が流行するきっかけとなった。

こういった時代を背景に生まれたのが (44) **Realism** の文学だ。1870年代リアリストのロマンティシストへの批判が起こる。リアリストの作家にとって、(45) **理想化された中世の貴族社会**を描くようなロマンスの世界は、個人的英雄行為を賞賛するものにしかすぎないと思えた。(次に続く)

- a. **Realism**: b. **Hratio Alger**: c. **理想化された中世の貴族社会**:
d. **アメリカンドリーム**: e. **Dime Novels** :

J. 彼らの描く世界は、政治と実業が全国で結託する (46) **金銭万能主義の現実生活**とかけ離れていると思えたのだ。この文学潮流に属する作家が (47) **Mark Twain** だ。

彼は (48) **俗語や簡素で率直な文体**や、持続的な緊張感と、開放感を織り混ぜた文体を使い、それまでアメリカ文学になかった斬新さで土地独特の生活を描いた。西部の (49) **tall tale (ほら話)**を学び、文学的コメディアンとして出発する。作家として名声を得るにつれ、文学的なジレンマに陥り、小説が書けない時期があった。それは、彼が元々持っていた西部的価値観＝自然、自由、野生と、有名になって接した東部的価値観＝文明、秩序、教養との間のジレンマであった。しかし、この対立する価値観のぶつかり合いによって、(50) **The Adventures of Huckleberry Finn**が生まれたのだ。(次に続く)

- a. **金銭万能主義の現実生活**: b. **The Adventures of Huckleberry Finn**:
c. **俗語や簡素で率直な文体**: d. **Mark Twain**: e. **tall tale (ほら話)**:

K. (51) **狭苦しく形式張った文明**＝ダグラス未亡人と、社会によってゆがめられ、(52) **獣的に無秩序な自然**＝親父の両方から逃れ、その間のどこかにある、自由で平和な境地を求めて、ハックは世の中から姿をくらます。Tom Sawyer が文明の社会への帰還を前提として旅立つのとは違い、(53) **Huck Finn** は命がけでそこから飛び出していく物語だ。常に受動的に生き、自分の正体をくらますことによって存在を保ってきた主人公が、追いつめられた状態の中から (54) **人間本来の正義感**を自覚し、そのために自分の存在をかけるという積極的生き方に転じていく。その過程で、良心に従う道と、(55) **本能的なハート**に従う

道のうち、後者を選ぶ。その道はよこしまで地獄へいく道だが、自分に忠実であろうとすると、この道しかとれなかった。これが主人公の成長である。同時にトウェインの道徳的価値観あるいは、人間的あり方が逆転している世界に対する批判でもある。

- a. 本能的なハート： b. 人間本来の正義感：
- c. 狭苦しく形式張った文明： d. 獣的に無秩序な自然： e. Huck Finn：

L. リアリティーに対する強烈な感情を持ち、個人の人間精神をもっとも重視するのが (56) Henry James である。彼の作品は心理的リアリズム小説といえる。また、幼少の頃から本国とヨーロッパを行き来して生活したことから、(57) 洗練されたヨーロッパ文化と地方的アメリカの対比を描くことが多い。その対比は、機械文明 vs (58) 伝統精神文化、無垢 vs 経験、豊かな感性 vs 堅苦しい義務感、(59) 自由と開放 vs 抑制の間で葛藤する心理ドラマとなる。彼の小説の主人公たちは、外面的には国際社会に親近し、内面的には社会の因習を学び、かつそれに打ちまかされることない傍観者の突き放した態度をもつ。

この作家は2つの文学的新手法を開発した。ひとつは (60) stream of consciousness と呼ばれる。(次に続く)

- a. Henry James : b. stream of consciousness :
- c. 自由と開放： d. 伝統精神文化： e. 洗練されたヨーロッパ文化：

M. 人間の意識を、時間、空間を越え、(61) 潜在意識まで掘り下げトータルに把握し表現する。作中人物の心理の動きをできる限り直接的に表現しようとする実験的な手法をさす。もう一つは、(62) 一人の人物の視点を通して語られる視点である。人物の見たこと、感じたこと、その人の意識だけが表現される。読者は語り手といつしか一体になる。つまり、読者が作品の中で生きることになる。語り手が世界に疑問を抱きながら生きるが、それと同時に (63) 読者も同じ状況を共に生きる。このような手法によって表現されるものが彼にとってのリアリティである。sincerity をもって、観察者＝芸術家の目に映る (64) impression を再現するとき、それは人生の真実を表現する芸術となると考えたのだ。

彼の書いた幽霊を扱った作品の(65) *The Turn of the Screw* では、女性家庭教師の視点から語られる。悪霊は抽象的な「悪」という存在を読者は共有する。底知れぬ悪の姿を描くこの作品は、アメリカで1848年ころ、マーガレット・フォックス姉妹が霊と交信できることを父親が宣伝したため、センセーションがまきおこり、心霊主義が大流行した時代背景を持つ。女性家庭教師が愛する生徒の Miles を悪霊の Peter Quince と争い、彼女が勝ったと思った瞬間、“but at the end of a minute I began to feel what it truly was that I held. We were alone with the quiet day, and his little heart, dispossessed, had stopped.” と悪霊に Miles の魂を奪われるラストシーンは読者の背筋を凍らせる。

- a. *The Turn of the Screw*: b. 潜在意識まで掘り下げ: c. impression:
d. 一人の人物の視点を通して語られる視点: e. 読者も同じ状況を共に生きる:

N. 産業化がいつそう促進され、アメリカ社会は非人間的な度合いを高めた。Realist よりもいつそう、厳しい社会批判の目を持った作家立ちが作品を発表した。彼らは (66) *Naturalist* とよばれ、人間は環境に左右され、内面的にも変化し、精神的に墮落すると考える作家立ちの信条を持っていた。その一人(67) *Stephen Crane* は、95 年 *The Red Badge of Courage* が出版されるや一躍有名になる。この作品では、戦争体験が無くまったくの想像力で書かれたイメージの豊かな、(68) 言葉を節約し、極端に単純化した描写で、印象派絵画的な表現法が用いられている。心理的リアリズムを追求し、読者の想像力に訴え、作品世界への参加を促した。そういう意味で(69) *ヘミングウェイ* などに影響を与えた。

この作品では、英雄的な手柄をたてようと北軍に志願した Henry Fleming は銃撃戦が始まると逃亡し、自己の本能を正当化するが、偶然殴られてけがをする。部隊に戻ったとき皮肉にもそれが名誉の負傷と勘違いされる。戦争や戦場の事を全く知らなかったヘンリーは戦場で時間を過ごすうち、特殊な環境に慣らされていく。次の文章には “And the most startling thing was to learn suddenly that he was very insignificant. The officer spoke of the regiment as if he referred to a broom. Some part of the woods needed sweeping, perhaps, and he merely indicated a broom in a tone properly indifferent to its fate.” には作家の心理状況を(70) *リアリスティック* に描かく特徴があらわれている。

- a. リアリスティックに描かく： b. 言葉を節約し、極端に単純化した描写：
c. Stephen Crane： d. ヘミングウェイ： e. Naturalist：

O. 同じ文学潮流に属す(71) **Theodore Dreiser** は、1906年のジレット・ブラウン事件をモデルに、環境と本能に支配される人間の悲劇性を見つめ、物質的成功への夢を無責任にあおるアメリカ社会を批判したアメリカ自然主義の代表的作品を生み出した。(72) *An American Tragedy* である。この作品では階級的、物質的、性的な欲望に駆られた人間の悲劇が描かれる。貧しい伝道師の息子Clyde Griffithsは伯父の工場で働くうち、女工Robertaに心をひかれ、深い関係に陥る。だが、社交界の美女Sondraとも偶然知り合い、交際が進展してゆく。おりあしくロバータは妊娠して結婚を迫り、板挟みになりながらもソンドラとの結婚と富裕な生活を夢みるクライドは、山中の湖にロバータを誘い出し、ボートを転覆させて殺そうとする。しかし決定的瞬間に意志が麻痺してボートは偶然の成り行きで転覆、ロバータは溺死する。政争に利用された裁判の結果クライドは死刑となるが、自分の罪に深い疑惑を抱いたまま死んでゆく。Clydeは殺意を持っていたが、事故は偶然に起きて、その結果「都合良く」Robertaは死亡する。彼の罪の曖昧性は、現代社会における(73) **人間存在の不確かさや不毛性、悲劇性**を強調する。

これに対して、新世紀の始まった1900-1917の期間は(74) **進歩主義の時代**と呼ばれる。この時代は(75) **理想主義**が標榜され、経済、社会、政治に多くの変革がもたらされた。多くの人が政治に参加するDemocracyが実現された。

- a. **人間存在の不確かさや不毛性、悲劇性**： b. **進歩主義の時代**：
c. **理想主義**： d. **Theodore Dreiser**： e. *An American Tragedy*：

P. 第一次大戦がヨーロッパで始まったとき、(76) **「民主主義の敵と戦う」**という理想の元、多くの若者が戦線に参加した。しかし、戦争による物質的、精神的な荒廃を経験した彼らは、新たな価値観を見いだす必要に見舞われた。

第一次大戦(1914-18)の前後から、1920年代にかけて、新たな詩の変革運動が起きた。(77) **Modernism**である。この運動は美術および文学上の運動であり、反美学的、反道徳的な態度を特色とするが、運動が行われた時と場所に応じてその性格はかならずしも一様でない。

この運動の中心人物、(78) **Ezra Pound** は、普通の言葉では言い表せない新しい現実、新しい感性を伝えるために、暗示的・間接的表現を使う。難解さを伴うことも辞さない。彼は、比喩＝詩と考えた。感情的、直感的、詩的な印象を生み出す。西洋文化にない要素を含む (79) **日本の俳句、中国の詩**などの影響を強く受けた。彼が提唱したイマジズムの特色は次の三つである。〔1〕瞬間のうちに知的、情緒的な複合体を呈出すること。〔2〕余剰を切り詰めて、具体的な「事物」それ自体を明確なことばで表現すること。〔3〕因習的な韻律を排して、新しい音楽性をもった韻律を創始すること。文学運動として絵画の領域にできるだけ接近しようとしたこの試みは、(80) **19 世紀的な観念的で情緒過剰な詩**への激しい挑戦の意図がある。

- a. **Modernism** : b. **19 世紀的な観念的で情緒過剰な詩**: c. 「民主主義の敵と戦う」:
d. **日本の俳句、中国の詩**: e. **Ezra Pound**:

Q. 保険会社で副社長をしながら詩作をしたのが、(81) **Wallace Stevens** だ。既成の文学的、歴史的、政治的文脈から解放された、手垢の付いていない言葉を使い、詩とは何か、何故、詩を書くのか、現代における詩の役割とは何かについて探求した。彼は、神という確固たる基盤を失い、混沌とした近代に、秩序や形式を与えるのは詩人で、(82) **イマジネーション**が、神 (= 宗教) に取って代わるという理念を持っていた。授業で読んだ “Anecdote of the Jar” にはこの理念が表現されている。

産科医師として働き、夜詩作をしたのは (83) **William Carlos Williams** だ。「生きたままつかまえてきて、紙に書き留められた」(84) **アメリカ口語の簡潔な表現**で、身の回りの (85) **: 具体的な「もの」を直接扱う**ことを信条とした。大げさな言葉を使わずに、客観的な描写を心がけた。素朴で何気ない光景を描いている。ささやかな光景のなかに大切さがある。実在の本質が暗示されている。即物的で、イメージのもつ情緒的喚起力に頼る。俳句に近い感覚。“Less is more” と言った Mies van Der Rohe や「言ひおおせて (いってしまつて) なにかある。」と言った芭蕉などが示した方向性の中で詩作した。授業では彼の “The Red Wheelbarrow” という詩を読んだ。その作品は次のようである。 “so much depends upon / a red wheel barrow / glazed with rain water / beside the white chickens.”

- a. **アメリカ口語の簡潔な表現**: b. **William Carlos Williams** :
c. **イマジネーション** : d. **具体的な「もの」を直接扱う** : e. **Wallace Stevens**:

R. 20年代には共和党大統領が3代続き、実業界の利益重視型政策を実施。大資本家への独占的経済集中がおきる。物質的繁栄と大衆文化が隆盛。この10年間は狂乱の20年代(Roaring Twenties)、あるいは(86) **Jazz Age** と呼ばれる。

第一次大戦初期、アメリカは中立主義をとった。しかし、ドイツ軍国主義の脅威に対抗し(87) **自由主義的世界秩序**を維持するため参戦する。戦後ヨーロッパ復興に多額の経済支援をし、ヨーロッパをアメリカ経済に依存させることに成功。海外投資、国内産業の発展が目覚ましく、一人あたり実質所得は1921年、522ドルから1929年、716ドルに伸びた。

アメリカは20年代、国勢調査で都市人口が農業人口を上回り、都市の時代を迎えた。(88) **Henry Ford**の考案したベルトコンベアー式流れ作業により、安価に大量の商品であるModel Tが庶民の生活に浸透した。Fordismは生産効率や生産システムを作り上げただけでなく、工員の給料引き上げも行い、余暇時間を増やし、自動車社会を確立しアメリカに社会変革をもたらした。こうして(89) **大量消費社会**が出現する。自動車、ラジオ、洗濯機が普及する。通信販売やセールスマンにより、大量生産された製品が売りさばかれた。生活様式は画一化し、(90) **清教徒的禁欲主義**が薄れた。(次に続く)

a. **Jazz Age**: b. **自由主義的世界秩序**: c. **Henry Ford**: d. **大量消費社会**: e. **清教徒的禁欲主義**:

S. この時代は保守的で、非寛容な時代でもあった。排他的で愛国主義的なWASP至上主義、禁欲的な宗教観が叫ばれた時代でもあった。無政府主義者のイタリア移民の二人が証拠もなく死刑判決を受けたSacco-Vanzetti Caseがおこる。また、聖書の記述を忠実に信じ、進化論を排撃する(91) **Fundamental Movement**も盛んになった。さらに、移民排斥を目的とする移民制限法(1924年)が成立する。禁酒法Prohibitionの成立(1919-33)にともない、シカゴなどの大都市では、酒の密売、密造を資金源にギャングが暗躍する。Al Caponeはイタリア系ギャング団のボスとして有名。

大学進学率が上昇し、マスメディアの発達(ラジオ局、タイム誌創刊など新聞出版界の活況)があり、大衆文化が発達する。プロスポーツやミュージシャン、映画俳優などが大衆の英雄となる。1927年、Charles LindberghがSpirit of St. Lewis号で大西洋無着陸単独飛行に成功したことを、大衆は異常な熱気で歓喜した。

アメリカにおいて、第一次世界大戦中に成年期を迎え、戦争体験を通じて、既存の思想、道徳、宗教に不信の念を抱き、またアメリカ文化の俗物性に絶望し、新しい生き方を求めた世代を (92) **Lost Generation** 「失われた世代」と呼ぶ。この名称は、Gertrude Stein がパリでヘミングウェイにいったことばを、ヘミングウェイが処女長編の見返しに用いたことから有名になった。

Gertrude Stein は一時医学を志したが、断念して海外に渡り、1903 年以降フランスに定住した。ピカソやマチスなどの新しい絵画の収集者となり、文学サロンをパリで開いて、ヘミングウェイ、パウンド、ジョイスなど若い作家たちが出入りした。その手法は (93) **キュビズム**の絵画や当時の新しい映画の方法に似ている。また、ことばの意味は全く重視せず、音を重んじた。(94) **文法構造**を大胆に無視したその詩風は破壊的なものである。関連の薄い語を組み合わせ、意外性に満ちた感覚を読者の脳裏に喚起させる。現在分詞や動名詞などの同一語を繰り返すことで、(95) 「**持続する現在**」という独自の意識が表現される。“I see the luck/ and the luck sees me/ I see the lucky one be lucky. / I see the love/ and the loves sees me.” という “Sonnets That Please” という作品にはその特徴が表れている。

- a. 「**持続する現在**」 : b. **Lost Generation** 「**失われた世代**」 :
c. **Fundamental Movement** : d. **キュビズム** : e. **文法構造** :

T. この時代の若いアメリカ人作家たちは伝統的なアメリカ社会や価値観からの脱出をはかり、パリに亡命した。戦争後、上品ぶる姿勢をなくし、自由を拡大していた社会で、円熟したヨーロッパの社会で人間関係の複雑さをもつ環境で、開放感を味わう。社会とのきずなを失い、文明の外で生きようとした。また、(96) **原初的な自己**に帰ろうとした。彼らは30年代には祖国へもどり、(97) **人間性の回復**を求めて活動した。自分たちの状況や精神を表現するためさまざまな方法を試してみた。

(98) **Francis Scott Fitzgerald** は、ほかのこの世代の作家たちと異なり、戦場に赴くことなく、終戦まで内地勤務であったため、彼の文学は戦後アメリカの社会風俗を描いたところに特色がある。若い世代の生態を赤裸々に描き、古い道徳と決別し、自らの生き方を模索する彼らの状況をとらえる。代表作は (99) **The Great Gatsby** 『偉大なギャツビー』だ。これは荒廃した20年代の物質主義文明のなかで、いかに (100) 「**アメリカ人の夢**」がゆがめられ崩壊するかを「二重の視点」から描いた作品だ。時代の風俗や感性を内

側から生き生きと描出すると同時に、一方では、覚めた目で批判的に観察する作家の姿勢がユニークである。(次に続く)

- a. 原初的な自己： b. *The Great Gatsby*『偉大なギャツビー』：
c. 人間性の回復： d. Francis Scott Fitzgerald： e. 「アメリカ人の夢」：

U. 主人公の(1) *J. Jay Gatsby* は貧しさ故にふられた恋人を自分のものにするため酒の密売をして巨万の富を得て、富豪になる。全てを捧げることで、ようやく彼女を手に入れようとする。あげく彼女が誤ってひき殺した女を守ろうとするが、その夫に撃ち殺される。彼は金や愛を手に入れながら、常に崩壊感覚やむなしさを感じている。その彼の偉大さを語るのは、中西部から東部の文化にあこがれてやって来た素朴な若者 Nick Carraway の次に示す最後の語りは、アメリカと言う土地と二〇年代の生き方が連続性を持つことを示している。 “Gatsby believed in the green light, the orgastic future that year by year recedes before us. It eluded us then, but that’s no matter – tomorrow we will run faster, stretch our arms farther… And one fine morning —— So we beat on, boats against the current, borne back ceaselessly into the past. ”

(2) *Ernest Hemingway* (1899– 1961) はシカゴ郊外の町オーク・パークに生まれた。医師である父の釣りや狩猟の野外趣味と、音楽・絵画をよくした母の芸術的才能を受け継いだ。高校卒業後、大新聞『カンザス・シティ・スター』紙の記者となり、つねに事件の現場に居合わせようとする生き方をこのときから示し、同時にむだのない文章を学ぶ有益な機会を得た。

彼の感情を廃したドライな文体は (3) *Hardboiled style* と呼ばれる。文体や物語の構成の簡潔さを追求し、読者のイマジネーションを喚起し、省略した部分をそれぞれの心の中に生起させようとする (4) 「*氷山の理論*」を作り上げた。ノーベル賞を受賞するきっかけとなった作品、(5) *The Old Man and the Sea* には次のような琴線に触れる表現が見られる。 “Just before it was dark, as they passed a great island of Sargasso weed that heaved and swung in the light sea as though the ocean were making love with something under a yellow blanket, his small line was taken by a dolphin. He saw it first when it jumped in the air, true gold in the last of the sun and bending and flapping wildly in the air. ”

- a. ジェイ・ギャツビー: b. *The Old Man and the Sea*:
c. Hardboiled style: d. Ernest Hemingway: e. 「冰山の理論」:

V. 1920年代よりニューヨークのハーレムで開花した黒人文学がこの影響を受けて発展した。30年代には、黒人作家は、黒人が人種差別され厳しい社会状況で生き抜いていることを、(6) **センセーショナルな表現**で読者の感情に訴えようとした。そのため、黒人の人間性を描くことが希薄になってしまっていた。次の世代が台頭した50年代には、差別と迫害される困難な社会状況の中、(7) **人間としてどのように生きるかを問う**ことを主題とする作品が生まれた。黒人は南北戦争以来、多くの黒人政治家の登場もあり、白人との平等を早期に達成しようとした。そのことが白人の反発を招いた。KKKなどの白人至上主義者が黒人を脅かした。

男性黒人作家で代表的な2人をあげよう。(8) **Richard Wright**は、夫に捨てられた病気の母を助けて生活を支えるために職を転々とし、満足な学校教育も受けられずに独学した。この少年時代の南部での異常な体験は、「幼少期の記録」と副題のある自伝小説『ブラック・ボーイ』(1945)に詳しい。15歳のころH・L・メンケンの作品に感激して、作家になる決意を固める。19歳で南部からシカゴへ脱出、革命的芸術団体ジョン・リード・クラブに参加。1940年、人種差別に対する抗議小説の最高傑作*Native Son*『アメリカの息子』で、指導的黒人作家になる。また自然主義の伝統を継承するアメリカ作家として、名実ともに揺るがぬ地位を築いた。

(9) **Ralph Ellison**は黒人を複雑な個性や心理やどのような人間性を持つのかを描こうとした。シンボル、アイロニー、ファンタジーを織り交ぜた文学的な表現を追求した。(10) *Invisible Man*を発表。黒人の私の語りによってストーリーは展開。面従腹背の生き方を祖父から教え込まれた主人公は、うまく奨学金をもらい大学入学を果たす。しかし、大学で黒人学長に裏切られ、放校され、ニューヨークを放浪する内に、アメリカ白人社会により抑圧される。主人公は白いペンキ、リバティ・ペンキを作る仕事に就く。このペンキには10滴のクロペンキを入れ、黒くなるまで混ぜる仕事をする。ある時配合を間違え、クロがハッキリ分かるペンキを作ってしまう職場を配置転換される。

その後、彼は自己のアイデンティティを見失い、黒人解放組織「兄弟団、ブラザーフッド」にはいる。戦闘的黒人や白人に追われるようになり、白人専用ビルの地下の穴蔵のような部屋で、盗電し昼間のよう

に明るい部屋で、見えない人間として暮らす。ついに、社会的に責任ある役割に目覚め、外の世界に出ようとする。主人公の饒舌さは、黒人がどんなに豊かな人間性を持っているかを証明している。黒人の存在感を見せつける作品だ。

- a. *Invisible Man* : b. Ralph Ellison: c. 人間としてどのように生きるか:
d. センセーショナルな表現: e. Richard Wright:

W. 北アメリカでは、1619年に最初の黒人20人がバージニアのジェームズタウンに到着。41年、マサチューセッツ植民地は初めて奴隷制を立法化するが、当初、黒人奴隷の身分は、白人の移民年季契約奉公人と大差なかった。17世紀後半に南部植民地でプランテーション農業が発展するとともに、農業奴隷として輸入されるアフリカ人の数は激増、北部海岸部の諸都市は(11) **奴隷交易**の中心地となる。北部植民地では家内奴隷または職能をもった奴隷として、中部大西洋地域では小規模農園の労働者として使役されたが、(12) **プランテーション経営**が経済活動の中心を占めていた南部植民地では、大量の農業奴隷が必要とされた。

イギリス植民地、とくに南部で奴隷の経済的・社会的重要性がますと、奴隷法は修正され、(13) **アメリカ独立革命(1775～83)**までには、もはや年季契約奉公人ではなく完全に奴隷身分にさだめられた。しかしこのころから、(14) **北部諸州**では革命思想の影響をうけ、奴隷制はしだいに廃止されていく。いっぽう南部では、19世紀になって(15) **綿花栽培**が飛躍的に拡大、奴隷労働力の需要はいつそう増大した。1800年、アメリカには89万3602人の奴隷がいたが、そのうち北部にはわずか3万6505人しかいなかった。60年の国勢調査では南部諸州の奴隷人口は395万3760人にもものぼっている。

- a. **アメリカ独立革命(1775～83)**: b. **北部諸州**: c. **綿花栽培**:
d. **奴隷交易**: e. **プランテーション経営**:

X. 50年代のアメリカ社会の差別待遇(Jim Crow practices)に抗議の声を上げ始めたのが黒人たちだ。南部で彼らは1863年に(16) **Lincoln 大統領**が奴隷解放宣言したにもかかわらず、差別を受けていた。

アメリカではかつて、黒人の血を一滴でも引いている人は「黒人」として扱われた。これは(17) **One drop rule** と呼ばれ、「純粋白人」という白人共同体意識を築き、アメリカ国内で白人の支配体制を強固にするために考え出された論理なのだ。

54年に公教育の場での差別を撤廃するという最高裁の判決、Brown Decision が下されたのにもかかわらず、白人社会の反対にあい、56年の末に南部6州で白人と同じ学校に通う黒人はひとりもいない状態だった。55年にアラバマ州で Montgomery Bus Boycott 事件が起きたことがきっかけで 平等の扱いを求める (18) **Civil Rights Movement** が始まった。事件は Rosa Parks という黒人女性がバスの中で白人に席を譲らなかった事に端を発した。この運動を指揮したのは26歳の黒人牧師 (19) **Martin Luther King Jr.** だ。彼の運動方針はインド独立運動の指導者、Gandhi のとった (20) **非暴力、不服従 (nonviolent, passive resistance) 運動** だった。63年、黒人に加えて多くの白人も加わって行われたワシントン大行進の時、彼は「I have a dream」の演説で将来の人種統合の実現を語った。Civil Rights Act を施行させる成功を収めた後、なおも残る黒人への差別撤廃にむけ、北部都市部で白人貧困層との連携をはかる運動に方向転換をはかったが、その実現を見ることなく68年に暗殺された。

- a. **非暴力、不服従 (nonviolent, passive resistance) 運動**: b. **Civil Rights Movement**:
c. **One drop rule**: d. **Martin Luther King Jr.**: e. **Lincoln 大統領**:

Y. 1960年2月初め、ノースカロライナ州グリーンズボロの白人専用ランチ・カウンターに4人のNAACPの黒人大学生がすわり、コーヒーを注文した。人種隔離制度のもとで注文は無視されたが、4人は(21) **座り込み(シット・イン)**をつづけた。脅しにもかかわらず、この座り込みにくわわる黒人はふえ、マスコミ報道がなされると、人種隔離制度に抗議する座り込みや眠り込み(スリープ・イン)といった同様の行動が南部じゅうの食堂やモーテル、図書館、劇場などに広がった。こうした運動の参加者は南部の諸都市で数万人におよんだ。(22) **ブラウン事件判決**にもかかわらず厳然と存続する南部の人種隔離制度に、非暴力直接行動で黒人学生がたちあがったのだった。

翌1961年5月、座り込み運動の後に SNCC のメンバーの一部は、CORE が組織した (23) **自由のための乗客 (フリーダム・ライダーズ) 運動**に参加した。この運動は黒人と白人十数人のメンバーが、複数の州にまたがる長距離交通機関の人種隔離を違憲とした前年の連邦最高裁判決の効力をためすため、(24) **人種隔離制**

度の本拠地である南部諸州に長距離バスでのりこむものだった。バスが人種差別のはげしいアラバマ州にはいると白人群众がバスを襲撃、バーミングハムやモンゴメリーで負傷者が次々とでた。

1964年7月のニューヨークのハーレム暴動を皮切りに、68年夏までにニューヨーク、ロチェスター、ロサンゼルスなど北部の都市をふくむ全米諸都市で(25)「長く暑い夏」とよばれる黒人都市暴動が夏季に頻発した。キングの公民権運動は南部の人種隔離制度を攻撃目標としたが、60年代初めには黒人の半数近くは北部のスラム街にすむようになっていた。北部では人種隔離制度はほとんどなかったが人種差別は厳然としてあり、北部黒人が公民権運動の成果の恩恵にみすてられたまま、失業や住宅難による極貧の中にいたことが都市暴動を誘発した。

- a. 「長く暑い夏」： b. 人種隔離制度： c. 自由のための乗客(フリーダム・ライダーズ)運動：
d. ブラウン事件判決： e. 座り込み(シット・イン)：

Z. 65年以降、都市部のスラムに住む黒人は、改善されない自分たちの暮らしにいらだち、白人社会に暴力で抵抗するようになった。(26) Black Power と称される過激な集団 Black Panther Party や” Black is beautiful” ととなえた Stokely Carmichael や、Black Muslim に所属した (27) Malcolm X らの指導者も生まれた。この傾向は黒人の連帯を破壊し、白人社会の反発を招いた。

公民権運動は黒人だけでなく、それまで WASP の支配する主流アメリカ社会で差別を受けてきた (28) マイノリティーやゲイ、女性などに権利の主張を叫ばせるきっかけを与えた。さらにアメリカ政府の政策に反対する人々の不満も高まった。その結果、(29) 対抗文化 (Counter Culture) が開花する。産業主義と機械文明に支配された社会に反抗する、若者による大衆文化の台頭である。都市コロニー・コミュニン・大学解放区を拠点に、ベトナム反戦運動などを展開した。麻薬、ドラッグ・カルチャー、Hippie、フリー・セックス、ロックミュージック、ドロップ・アウト、徴兵拒否、国外逃亡、反戦運動、平和運動、環境保護運動、ゲイパワー、フェミニズム運動、ラディカルな社会変革、精神性や神秘主義などがキーワードである。反体制運動は (30) 体制派にはねつけられた。しかし、この運動はアメリカの歴史や、成り立ち、本質を根本から問い直した。

- a. 体制派： b. Malcolm X： c. Black Power：

- d. 対抗文化 (Counter Culture) : e. マイノリティやゲイ、女性:

AA. アメリカは現在まで様々な戦争に関わってきた。男性が出征し、社会からいなくなるたびに、その地位を代替するために(31) **女性が社会進出**した。1940年代にアメリカが第二次大戦に参戦したとき、女性が兵士に代わり社会進出した。彼女たちは社会参加し経済的自立することに大きな魅力を感じた。しかし、男性が戦争から帰還すれば、多くの女性は家庭へとふたたび戻されてしまった。男性社会は理想の女性像を良き妻、良き母として様々なメディアを通じて女性に刷り込んだ。女性は思いを実現出来ないことで大いに不満を募らせた。

そのような折りに始まったのが、1960年代の女性運動の第二派である。この動きは、ベティ・フリーダンのあらわした(32)『**フェミニン・ミスティーク (新しい女性の創造)**』をきっかけに始まった。NOW(全米女性機構)会長として、家庭の中での男女平等や、母親の職業教育、再就職の機会を求める運動を始めた。女性解放運動を組織し、妊娠中絶権をふくむ、女性差別撤廃を訴えた。くわえて、女性を家庭に押し込めてた(33) **男性優位、男性本位**の社会構造も批判した。このあと様々な主張をする女性運動が70年代に展開された。

生物学的性差であるセックス(性)に対比して、社会文化的な性差を意味する用語を(34) **gender** という。すなわち、人間が社会化されていく過程で、意識的、無意識的に身につけていく「男らしさ」「女らしさ」の観念のことをさす。ジェンダーは、1960年代の女性運動の高まりの中で問題にされて以来、(35) **フェミニズム**思想の基本概念として理論化がすすめられてきた。

- a. **女性が社会進出**: b. **フェミニズム**: c. **gender**:
d. 『**フェミニン・ミスティーク (新しい女性の創造)**』: e. **男性優位、男性本位**:

BB. 女性は家庭を守り育児に専念すべきであるという観念は、じつは産業革命後、都市の住環境が変化した19世紀の近代社会になってもたらされたといわれる。金メッキ時代には(36) **Genuine Femininity**を社会が求めるようになった。つまり中産階級の白人女性にとって(37) **敬神、純潔、従順、家庭愛**が美德とされた。または、結婚、母性の偏重するようになる。女性を社会参加させない構造を男性

が作り上げたのだ。同時に、家庭にとどまった女性は男性文化が生み出す (38) 富と文化の消費者としての役割も担うことになる。この状態は1930年くらいまで続いた。

同じ時代、中産階級の白人女性は同性同士の自由で開放的な空間を持つことを楽しんだ。時には共同生活を始め、ロマンティックな関係になることもあった。女性に限らず、同性同士のこのような関係を (39) homosociality と呼ぶ。

一方、アメリカが産業化するにつれ、男性も19世紀に経済基盤を支える重要な役割を果たすようになったが、家庭での役割は女性に取って代わられ、権威と影響力は低下した。すると「男性的家庭性」が強調され、公共の場で要望された (40) 「野性的男性性」とのジレンマは、20世紀に入りますます大きくなった。

- a. 「野性的男性性」： b. 敬神、純潔、従順、家庭愛： c. 富と文化の消費者：
d. homosociality： e. Genuine Femininity

CC. 歴史的にみても、ジェンダーは (41) 文化変容する のである。しかし、いつの時代においても、男性と女性のジェンダーが中立的であったことはなく、社会は常に男性寄りの非対称な差異化の構造であった。しかも、ジェンダーは (42) 文化的性差 なので、それぞれの社会がことなれば、人々のジェンダー意識やそれに付随する文化もことなる。それだけに、ジェンダーに関する諸提言の具体化が、すべての社会に一律に適用できないのは当然のことだ。ともあれ、人間としての権利や役割とは何か、ということ問いなおしていくうえで、もはやあらゆる分野でジェンダーの視点が欠かせない。

1980年代から90年代はPost Feminism の時代である。 (43) 非合理的な東洋の言葉 の神秘を、明晰な論理性を追求する西洋の思考と比較する。少数民族集団や女性への積極的差別是正策、雇用や教育の機会均等を保障することを目指した (44) Affirmative Action が採られる。本来の伝統文化を強調し、それに自己同一化しようとする Identity politics が芽生える。弱者を差別しないだけでなく、その存在を理解することが道徳的に求め political correctness が実践された。こうして90年代に (45) multiculturalism へとアメリカ社会は移行し始めた。

- a. Affirmative Action： b. 非合理的な東洋の言葉：
c. 文化変容する： d. multiculturalism： e. 文化的性差：

DD. 少数民族集団の「おらが文学」の特徴は、少数民族の歴史や社会の紹介から、彼らが現在直面する問題を提示する。白人作家が描く主流社会以外の世界を文学作品に読める選択肢を、少数民族集団にももたらした。それにより、アメリカ社会に住むマイノリティとしての(46) **疎外感**を癒すことができた。

少数民族集団に属す作家の作品の特徴は、白人主流社会と少数民族社会の境界を描くことにある。ところが、少数民族同士の社会の境界は滅多に描かれない。つまり作家達が属す少数民族集団の歴史と社会にしか興味を示さないといえる。アメリカ社会の分裂した状況や、分断化された少数民族集団のアメリカ社会での生き方を描くという特徴がある。

それまでアジア系作家の作品が成功を収めたことがなかった。文化の変化を受けて、中国系二世作家の Amy Tan の 1989 年の第一作(47) *Joy Luck Club* がベストセラーになる。この作品では、中国から夢の国アメリカに移民してきた母と、アメリカ育ちの娘たちのそれぞれの人生が、二つの国の文化や社会を背景にユーモアある語り口で、中華料理のフルコースのような彩りの豊かさで描かれる。母の思いは、"This feather may look worthless, but it comes from afar and carries with it all my good intentions." のように娘たちへと託される。中年にさしかかった娘たちはやっとそれを理解出来るようになる。移民からなるアメリカ社会と、移民の普遍的な経験につながる原作は、90年代に様々な人種からなる多くの読者を獲得した。

大手出版社の編集次長として働くうちに、アメリカの歴史、文学において、黒人の存在が無視されていることに気がつき、作家となる。1993 年、黒人女性として初めてノーベル賞を得たのが(48) **Toni Morrison** だ。(49) *The Bluest Eyes* はオハイオ州ロレインでの 1941～1942 の夏に起きた出来事を描く。主人公 11 才の少女、ピコーラ・ブリードラヴの物語を、小説の語り手 9 才の友人クロードディアが語る。ピコーラの家が貧しいこと、両親が不仲であるなどの身の回りの不幸を、白人の美しさが自分には備わって否からだと思いこみ、青い目をほしがるようになる。父親にレイプされ、妊娠し、精神異常をきたし、青い目を手に入れたと錯覚する。彼女は母と社会から疎外されてひっそり生きる。主人公が青い目をほしがるのは、(50) **白人中心主義の価値観**が、彼女に自己否定を強いるからだと言える。奴隷解放後もアメリカ社会に残る根深い人種差別を描いた作品だ。

- a. **白人中心主義の価値観**: b. *The Bluest Eyes*:

c. 疎外感: d. Toni Morrison: e. *Joy Luck Club*: